

みなさまからのご寄附で 一庫ダムにエドヒガンを 植樹しました

～水資源機構寄附金 実施報告～

はじめに

水資源機構（以下「機構」）では、一庫ダムにおいて、ダムのスローガン「水・人・自然の調和」により、地域に長く親しまれるダムを目指して、周辺の山々に自生するエドヒガンのダム周辺への植樹活動を目的とした寄附金の募集を行いました。エドヒガンは古くから日本に自生してきた野生種の桜であり、ソメイヨシノの母種としても知られています。ご寄附いただいた皆様におかれましては、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

機構では、いただいた寄附金を活用し、エドヒガンの苗を一庫ダム下流左右岸広場に植樹しましたので、ご報告いたします。

寄附金の受入れ実績

今回の寄附金募集の概要は以下のとおりです。

～水・人・自然の調和を目指す一庫ダム～
一庫ダムエドヒガン植樹プロジェクト

寄附金募集期間 令和元年9月17日～12月20日まで
寄附者 個人103名／法人6団体 金額 **441,110円**

寄附金の活用等

一庫ダムの地元の川西市では桜を市の木としており、なかでもエドヒガンの群生地を市の天然記念物に指定するなど、その保護と育樹活動に力を入れています。能勢電鉄山下駅よりはじまり、一庫ダム、国崎、黒川、妙見山、高代寺山、妙見口駅を経て、山下駅に戻るルートと、このルートから外れますが、エドヒガンの名所として欠かすことのできない猪名川左岸沿いの水明台、溪のさくらは「エドヒガン回廊」として皆様にも親しまれています。

ご支援いただいた寄附金は、植樹するエドヒガンの

苗の購入、獣害防止用柵等の購入及び記念銘板の作製等に活用させていただきました。

また、寄附者への限定企画として、令和2年2月29日に予定していた記念植樹式については、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として中止し、前日の2月28日に今回のプロジェクトにご協力いただいている「溪のサクラを守る会」の皆様のご指導、ご協力のもと30本の苗木を、心を込めて植樹しました。また、あわせて予定していた施設見学会の開催については、改めて開催をご案内することとしました。



ご寄附をいただいた皆様へ

今般の寄附金の趣旨にご賛同いただいた皆様に協賛団体（川西市・猪名川町・能勢町・能勢電鉄株式会社）の皆様からご提供いただいた記念品、限定一庫

ダムオリジナルカード、記念コースター等の進呈を行いました。

おわりに

一庫ダム管理所では、エドヒガンの植樹を兵庫県立「人と自然の博物館」、豊能町コピスクラブ、溪のサクラを守る会、能勢電鉄株式会社と協力して実施しております。

取組の趣旨にご賛同いただきご支援いただいた皆様、プロジェクトにご協力いただいた皆様、植樹活動にご協力いただいた皆様、この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。皆様方のご厚意に感謝しつつ、植樹した桜の成長をしっかりと見守ってまいりますので、6～8年後頃に花が咲くのを楽しみに、皆様にも一庫ダムに足を運んでいただき、苗木の成長の様子をご覧いただければと考えております。

